

平成28年度 見附市生活科部 活動報告

部長 小出 剛司

1 研究主題

「気づきの質を高める体験活動と表現活動」

～充実した表現活動につながる体験活動を求めて～

2 研究の実際

○6月15日（水） 本年度の計画作成

○8月22日（月） 講話・実技講習会 会場：上北谷小学校 講師：自然観察指導員 佐藤久敬様
『遊びに行こうよ～自然に親しもう』

I部：フィールドワーク「雑木林を歩こう（上北谷小学校周辺）」

- ・漆、コブシ、エゴノキ、ヌルデ、クリの木等の説明。
- ・しおりに使う花の採集

II部：資料を使った自然観察の講話

- ・なぜ自然観察が必要か
- ・先生の一言が子どもの人生を変える

III部：ネイチャークラフト

- ・しおりづくり
- ・ネイチャークラフト 木切れ、枝などをボンドで貼り付ける簡単な創作活動

3 成果と課題

- ・ 秋の自然素材を生かした遊びや活動についての研修を行った。

上北谷小学校周辺でどんな素材が採集できるのかを具体的に示していただいたり、フィールドワークを行う際に留意することを教えていただいたりした。エゴノキの種子はお手玉になる。果皮は石鹸になったり、川魚をとるのに用いられたりすることなどお聞きし興味をもつことができた。

- ・ 講演では、「少年動物詩」河合 雅雄著、「動物たちはぼくの先生」日高 敏隆著などを紹介され、自然を大切にし、自然を楽しむ習慣をつけることの大切さを語られた。また、授業に参考になる様々な植物図鑑を紹介され、参考になった。
- ・ また、後半は、学校周辺で採集した花でしおりを作った。また、木切れや枝で、カブトムシ、タヌキ、ペンギンや飾り物を作った。身近な素材で低学年の児童にも簡単にできる創作活動だったので、参加者も興味をもって作成していた。今後の生活科の学習に活かせる活動になった。

